



▲何よお（奈良にて）

僕の持っている電話は文字の大きい「年寄り用」でオマケに万歩計というものがついている。ついでに1ヶ月の履歴を出すことができるが、週に3〜4回は2万歩を超えている。別にダイエットしている訳ではないのだが。

昼食後Rと歩く。たいがい急いでかきこんで、ときには昼食を中断して。ポツポのパン屋さんに配達され

いっしょに歩く

ある

た弁当箱を回収して、いったん戻った後、どこかの駅まで歩き、少しだけ電車に乗って帰るといふパターンはいつからだったつけ。

別の理由からお昼前に、自由にとりで歩くことが許されてい

ない二十才そこそこのRに欲求不満が溜まるのも当然だ。家の前の道路に1時間も寝転がったり、家の中でも

ピーコラ

11月23日から3泊4日で韓国へM君の用事について行ったときのこと。

2日目、プサンからソウルに向かう高速鉄道KTXで。これからいま

審議中の障害者関連の予算獲得のために国会前で「菟城」としている仲間の支援に行くという障害者グループと乗り合わせた。菟城のことは同行のTさんからも聞いていたことでもあり、話すうち、共通の知人の名前も出てきたようだった▼ソウル駅でいったん彼らと別れ少し離れたホテルへ。それからまた地下鉄で日の暮れた議事堂近くのテナトで菟城する韓国の仲間たちの陣中見舞いに行く▼彼らの要求しているのは介護費等の補助予算、雇用政策に関わる予算、所得の保証の3つで、貧しい障害者に対する施策が課題だという。テントの中で韓国の状況の説明やま

荒れたり、まあ、別の理由もあるけれど。そのころから運送屋さんや郵便など気になる車を見つけると動き出すまで見届ける、というこだわりが強くなる。運転手さん車をと



▲健康検診 は～い、息を止めて！

めて昼寝してたりするのだ。まあ果てしなや……。とにかくひとつ「仕事」をして帰ろう、弁当箱を回収して帰ろう、というように、彼の足なら往復30

の醍醐味は説明するのがむずかしい。足音を聞きながら気配を飛ばしながら歩かず、振り返らずに。ときどき裏切

分もかからない道程を2時間以上かかったりする。面倒な車にあまり引つかからないルートを見つければ「弁当回収して天王寺」「はい」「座りこんだらあかんで」「約束守るっ！」やっと主導権を握ったぞ。

いつしよに歩くこと

られる。見失う。めげずにまた。良い瞬間が訪れますように。彼もすぐ飽きてしまうのでルートをかえる。「今日は寺田町ね」「はい」寺田町に着く。「桃谷……」「座りこむなよ」「約束守るっ！」もう振り返らない。

(猿橋)



▲韓国議事堂前にて (撮影・留学中の小野潤子さん)

た今の日本の有様を聞きながら、私はあることを思い出していた▼だいたい前の事だが、山口県のある山奥にある悪名高い施設から出て、街で住みたいという障害者を友人が尋ねた。しかし障害者の親やその施設は、施設から出ると悪い健康者に食い物にされるといつて以後、会いに行っても面会すら許さなくなった。障害者をいちはば食い物にしてるのはその親や施設ではないか▼私たちがひとつ上の世代はそういう状況から命懸けで街に出た。曲がりなりにも街中の設備が整い、年金制度のある現在の日本で、自分を含めて多くの障害者は懐柔され、前の話に勝る、まさにに耳を疑うような事は身近に多い。寒い初冬のソウルの夜であったが、熱気に満ちたテントの中で、そうした日本の状況を、韓国の仲間たちは、どんな思いで聞いたのだろうか。

(普)

自己紹介

湯浅 久美

今年のカレンダーも残すところあと1枚……2009年の足音が近づきました。早いものでピースクラブに入職して3カ月になります。とはいえ……毎日あたふたと過ごしている状態で、もつと落ちついて行動しなければ！と反省すること度々です。

では、この場を借りまして自己紹介させていただきます。湯浅久美、34才、和歌山県・和歌山市出身です。これまでの職歴を、ざっと書いてみます。

兵庫県の短期大学卒業後、地元の小・中学校で臨時養護教諭として(保健室の先生)として2年間働きました。その後、保育士資格を取得し、就職と同時に、大阪・1人暮らし

ビュートを果たしました。保育園・託児所で天使のような、時には怪物にもなる不可思議な子供達とスリリングな4年間を過ごしました。

腰痛の悪化により、会社に就職。事務員としておたやかに働きながら、ヘルパー資格を取りました。せっかくとった資格を生かしてみたいと考えた時、近所のケアセンターで訪問入浴ヘルパーの募集があり、1年半、経験させてもらった後、ピースクラブでお世話になる事となりました。

……それぞれの環境で上司や先輩はもちろん、子供達や利用者さんに支えられ、学ばせて頂いた幸せな時間でした。最近になってやっと、もう一方的に学ばせてもらう。立場を卒業しな

くちやいけないなあとと思うようになりましした。これからは、学びあう関係。を築いていきたい。ピースクラブではどんなことを吸収し、成長しあえるだろう……来年に向けての大きな目標が出来ました。どうぞよろしくお願います。



▲キジムナースタッフ (左上2人目が湯浅久美さん)

三線センセイの

キューバ滞在記(2)

さいごの最終回

酒井さとえ

(前回からのつづき)

キューバ人と一緒に旅行

置から消えた。

数日待ったけど現れない。

仕方ないので古本屋の「お

じいさん」に尋ねてみると

逆に「いったいどうしたん

だ？あの子はどこにいったん

だ」と尋ねられた。実は「お

じいさん」は本当のおじいさ

んではない、血縁上は赤の

他人であることがわかった。

マイケルの連絡先を知って

いるかと問われ、電話や住

所を知っていると答えると、

何か問題があったに違いない

からすぐに訪ねなさいと強く

勧められた。家に電話し、訪

ねたのだけど、マイケルの家

族からは「父に会いに別の地

方に行っているだけ、すぐに

帰って来る」とそっけない

返事しか返ってこない。お

じいさんは警察官に相談す

べきだと言い、前にマイケル

から友達だと紹介されたこ

とのある警察官を呼び、相

談することになった。警察

官は親身に話しを聞いてく

れ、すぐに調査すると約束

してくれた。

数日後、その警察官から

詳細を聞くことにな

った。事情を知っ

ているマイケルの母

親を呼び、話を聞く

はずだったが母親は

約束の時間に現れな

かったこと。推測す

るに母親はこのこと

について話したくな

いのだろうということ

と。また、マイケル

の友人が外国人との

間のトラブルによつ

て逮捕された可能性

があり、その時にマ

イケルも一緒に逮捕

されいるかもしれない

た。いつか帰って来るはず

だった。街を歩けば「あの

子はどうしたの？」とたく

さんの人に聞かれた。「父親

の所に行ってるらしい、す

ぐに帰って来るって」と答

え続けたけど、結局あれか

らキューバを去る日まで会

うことができなかった。

それからもカサのペラン

ダからマイケルを探し続け

た。

これからのスケジュール

- 12月5日(金) 午後6時30分～
トラトラトラ08 大正アザリア
- 12月11日(木) 午後7時～
グループホーム忘年会
- 12月21日(日) 午前11時30分～
スリランカ(カレー)パーティー
- 12月26日(金) 午後6時～
ピースクラブ忘年会
- 12月27日(土)～1月4日(日) 正月休み
- 1月11日(日) 午前11時～ 餅つき新年会(予定)